



平成30年3月13日

各 位

会社名 株式会社ファルテック
代表者名 代表取締役社長 横田 昭治
(コード番号 7215 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 北原 正裕
(TEL 044-520-0290)

(訂正) 「平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年8月9日に開示いたしました「平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年3月13日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東
 コード番号 7215 URL <http://www.faltec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸井田 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 宮坂 佳介 TEL 044 (520) 0290
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	19,340	3.3	△230	-	△391	-	△453	-
28年3月期第1四半期	18,724	6.0	490	△6.3	499	5.2	306	△19.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △659百万円 (-%) 28年3月期第1四半期 92百万円 (△65.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△48.72	-
28年3月期第1四半期	33.14	32.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	57,086	17,873	28.5	1,748.59
28年3月期	59,392	18,936	29.2	1,858.56

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 16,293百万円 28年3月期 17,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	43.33	43.33
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	43.33	43.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,700	△0.5	3,200	△2.7	3,100	5.5	1,500	42.0	160.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	9,318,600株	28年3月期	9,318,600株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	624株	28年3月期	624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	9,317,976株	28年3月期1Q	9,247,476株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く経営環境として、国内の景気は為替が円高基調にあることにより力強さを欠く展開になっており、また当社の属する自動車業界の概況は、国内四輪車生産台数及び販売台数共に前年同期を下回る結果となりました。

このような情勢の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年下半期以降本格稼働したタイ子会社及び中国湖北省子会社稼働寄与、英国子会社の新規取引先への拡販効果等により19,340百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

営業損失は、日本セグメントにおける売上高減少影響や英国子会社の新車立上げ時の費用増が前年より一部継続していること等により230百万円（前年同期は490百万円の営業利益）となりました。

経常損失は、前年同期に為替差益が17百万円計上されたのに対し、当第1四半期連結累計期間は為替差損155百万円計上されたこと等により391百万円（前年同期は499百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、453百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益306百万円）となりました。

なお、今後の見通しですが、日本セグメントにおいては第2四半期以降の主要取引先の増産、受注増に伴う収益改善、アジアセグメントにおいては前期稼働した工場を中心とした堅調な利益改善、また米国他セグメントの英国子会社においては日本のモノづくり標準を展開・浸透させることでの生産安定化による効果を見込んでおります。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、国内四輪車生産台数及び販売台数の減少影響等により13,446百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

セグメント損失は、売上高減少影響等により166百万円（前年同期は505百万円のセグメント利益）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、前年下半期以降本格稼働したタイ子会社及び中国湖北省子会社の稼働寄与等により2,835百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

セグメント利益は、工場操業度増及び本社マザー工場の技術指導による効果等により282百万円（前年同期は90百万円のセグメント損失）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、英国子会社の新規取引先への拡販効果等により3,058百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

セグメント損失は、英国子会社の新車立上げ時の費用増が前年より一部継続していること等により382百万円（前年同期は74百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ2,306百万円減少し、57,086百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,634百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1,243百万円減少し、39,213百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,007百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ1,062百万円減少し、17,873百万円となりました。これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が857百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、当四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.7ポイント減少し、28.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成28年5月12日の「平成28年3月期 決算短信」で公表致しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

（3）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,786	4,874
受取手形及び売掛金	<u>17,892</u>	<u>16,258</u>
商品及び製品	<u>3,213</u>	<u>3,196</u>
仕掛品	<u>551</u>	<u>596</u>
原材料及び貯蔵品	<u>2,426</u>	<u>2,365</u>
繰延税金資産	<u>502</u>	<u>502</u>
その他	1,853	1,448
貸倒引当金	<u>△14</u>	<u>△14</u>
流動資産合計	<u>31,212</u>	<u>29,227</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,729	6,414
機械装置及び運搬具（純額）	<u>5,952</u>	<u>5,699</u>
工具、器具及び備品（純額）	<u>1,236</u>	<u>1,241</u>
土地	7,235	7,179
リース資産（純額）	1,464	1,606
建設仮勘定	1,592	1,603
有形固定資産合計	<u>24,210</u>	<u>23,744</u>
無形固定資産	1,184	1,111
投資その他の資産		
投資有価証券	840	714
繰延税金資産	<u>1,696</u>	<u>1,921</u>
その他	1,320	1,438
貸倒引当金	<u>△1,072</u>	<u>△1,072</u>
投資その他の資産合計	<u>2,785</u>	<u>3,002</u>
固定資産合計	<u>28,180</u>	<u>27,858</u>
資産合計	<u>59,392</u>	<u>57,086</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,630	9,622
電子記録債務	2,974	2,845
短期借入金	3,345	4,350
1年内返済予定の長期借入金	2,466	2,277
リース債務	824	897
未払法人税等	488	168
賞与引当金	647	375
課徴金引当金	194	176
その他	3,997	4,391
流動負債合計	25,569	25,104
固定負債		
長期借入金	5,387	4,922
リース債務	529	612
退職給付に係る負債	7,424	7,102
持分法適用に伴う負債	116	105
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	421	359
固定負債合計	14,887	14,108
負債合計	40,456	39,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,257	2,257
資本剰余金	575	575
利益剰余金	10,584	9,726
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,416	12,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	365	277
繰延ヘッジ損益	△3	△3
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	2,349	2,164
退職給付に係る調整累計額	△745	△639
その他の包括利益累計額合計	3,901	3,734
非支配株主持分	1,617	1,579
純資産合計	18,936	17,873
負債純資産合計	59,392	57,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	18,724	19,340
売上原価	15,701	16,692
売上総利益	3,022	2,647
販売費及び一般管理費	2,532	2,878
営業利益又は営業損失(△)	490	△230
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	32	24
不動産賃貸料	12	5
為替差益	17	-
持分法による投資利益	-	10
その他	23	7
営業外収益合計	89	52
営業外費用		
支払利息	61	50
為替差損	-	155
持分法による投資損失	5	-
その他	13	7
営業外費用合計	79	213
経常利益又は経常損失(△)	499	△391
特別利益		
投資有価証券売却益	119	-
特別利益合計	119	-
特別損失		
減損損失	-	55
特別損失合計	-	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	619	△446
法人税等	342	△35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	277	△410
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	43
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	306	△453

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	277	△410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	△87
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△76	△265
退職給付に係る調整額	△53	105
その他の包括利益合計	△184	△248
四半期包括利益	92	△659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116	△620
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,703	2,324	2,696	18,724	-	18,724
セグメント間の内部売上高 又は振替高	305	102	-	407	△407	-
計	14,008	2,426	2,696	19,131	△407	18,724
セグメント利益又は損失 (△)	505	△90	74	489	0	490

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,446	2,835	3,058	19,340	-	19,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	255	31	0	287	△287	-
計	13,702	2,867	3,058	19,628	△287	19,340
セグメント利益又は損失 (△)	△166	282	△382	△267	36	△230

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、売却予定の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては55百万円であります。